



# 千葉労働動員

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番  
(公) 043 (222) 7207 番

99. 7. 18 No. 4906

# 銚子支部第18回大会開催



第十八回定期総会

闘わなければ賃・利も守れない  
——渡辺支部長あいさつ——

1月14日、労働金庫銚子支部三下会議室において、銚子支部第19回定期大会が開催された。大会は、議長に田中君を選出し、冒頭渡辺支部長が挨拶のなかで「昨年の98春闘では、川口君、江波戸君が13年にも及ぶ強制配転に対する怒りをもってストライキに決起し、支部も全力で闘いました。残念ながら貨物格差はさらに拡大し、配転者も未だ戻ってはいませんが、支部は夏の配転者の激励行動を行い、原職復帰に向けた闘いを最重要の課題として強化してきました。

また、一〇四七名の解雇撤回闘争を全力で闘いぬかなければなりません。さらに、11・8集会には支部からも10名の仲間が参加したが、これからは、闘う労働運動がなければ賃金も権利も破壊されます。リーダー研修の中止問題など東労組も危機にたっている。今年は結成20周年にあたりさらなる闘いに決起しよう。統一選挙での組織内議員当選に向けて全力で闘おう」と決意を訴え、全組合員で確認した。その後、本部長中野委員長の挨拶を受け、執行部からの議案提起が行われ、質疑応答の後満場一致で新年度の方針が採択、支部長の団結ガンバローで支部大会は成功裏に終了した。

またこの日は、前段で乗務員分科会第18回定期総会も開催され、加瀬乗務員分科会長は、「分科会は、運転保安の確立、60歳まで働ける職場という方針のもとで、実態調査などの取り組みを一人ひとりの会員が自信をもって闘いぬぎ、団体交渉などに反映させてきた。これは、JR体制打倒という気持ちがあるなかにあるからできた取り組みである。地道な取り組みだが、一人ひとりがストをやるような気持ちで闘おう」と訴えた。

## 《だされた主な意見》

● 分割作業の際、移動禁止合図機が点灯のまま移動指示が行われるような取扱はおか

- しいのではないか。
- 輸送混乱時の出勤の指示や運転士の差し替え、予備勤務者の取扱いなどについて。
- 台風などの際の運転再開の在り方について、保線が合理化されてしまっていることによつて、問題が発生している。
- 特急列車の途中駅からの各駅停車化に伴い、すでに停車駅通過事故が発生している。問題点が多い。
- 無線による指令からの通告が未だ不明瞭で、規程にあつていない取扱いが行われていることについて。
- 年令構成、これからの組織拡大の展望について。
- ローカル線の削減攻撃など今後の動向について。
- 強制配転者の早期原職復帰について。

## ●第七回全支部活動家研修会●

とき 一月二四日(日) 一三時三〇分から  
二五日(月) 一二時まで

### 研修内容

(1) 時代の転換点にたち向う労働者の課題

講師 中島 誠氏(文芸評論家)

(2) 新ガイドライン—有事立法の本質と背景

講師 浅井基文氏(明治学院大教授)

### 【乗務員分科会】

会長	加瀬 利夫
副会長	庄田 聡
事務局長	永井 誠
委員	戸村 康之
ダイ 検	本網 隆之
	遠藤 哲夫
	笠井 二香
	田中 浩克

### 【98年度新役員】

支部長	渡辺 靖正
副支部長	越川 幸夫
書記長	伊藤 幸彰
執行委員	鈴木 貴雅
	志賀 日出男
	関根 嘉一
	小川 美夫
	川越 明
	鎌倉 昌雄
	平山 和男
会計監査	片山 敏雄